



#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>参加者数は約10,000人強で落ちていたが、平成29、30年度で10000人を切り、参加者が減少し、理由の分析と対応の検討を加えながら、親子の交流の場の提供と家庭教育の普及に取り組んでいく必要があった。平成29年度から、「親磨きのススメ」とし、家庭教育に関する講演会を同時開催し、親が学ぶ機会を作り充実させていく。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対策として、予約制を取り、人数制限をしたので、目標値からはかけ離れた実績となった。令和3年度についても引き続きコロナ渦における事業実施となっているため、目標値からはかけ離れた実績となる見込み。</p>
見直し・改善内容	<p>「パパあそ」の日程に合わせて開催の「親磨きのススメ」とした家庭教育に関する講演会を、充実させていく。子育てひろば事業について、「家庭教育」の観点の内容を、引き続き充実させる。</p> <p>コロナ渦における「子育てひろば」の実施については、ソーシャルディスタンス等必要な新型コロナウイルス対策は行いつつ、人数制限をしながら事業実施する。</p>